

※交流会にて ~利用者の皆さんと共同作品~



「食の意思決定を支える」

園長(管理者) 棚橋 彩子

最近の私の楽しみと言えば、山歩きと美味しいものを食べることに。年を重ねるごとにたくさん食べられなくなっていく自分が残念でなりません。この先、病気にでもなつて「これは食べてはいけません!」と医者に言われようものなら…。

今年度の桐樹園の取り組みのひとつとして、入院予防に力を入れてきました。これまでの入院要因としては誤嚥性肺炎が多くをしめており、予防する上で食事形態を常食から刻み食やミキサー食に変更せざるを得ないケースも多くありました。安全に食事を召し上がっていただきたい反面、美味しく楽しい食事時間を過ごしてほしいという思いも強くあります。

そこで、食に関する希望を叶えるための会議を行うことにしました。ご本人の思いを中心に置き、ご家族の協力も得ながら、各職種が集まって検討を重ねました。それぞれの立場から専門性を活かした役割を担うことで、食の意思決定をチームで支える仕組みづくりができました。ご利用者の笑顔も増え、活動にも意欲が見られるようになりました。

施設では安全を重視するあまり管理的な視点になりがちです。が、年をとつても美味しいものを食べたい思いはみんな同じです。すべての希望を叶えることは難しいかもしれませんが、みんな考えて支える仕組みづくりは、これからも継続していきたいと思えます。



栄養課の取り組み

桐樹園交流会 スペシャルメニュー 実施しました!

《献立》

- ・秋の炊き込みご飯 ・サーモンのホイル焼き
- ・柿なます ・けんちん汁 ・早生みかん



常食



ミキサー食

秋の食材たっぷり、
栄養課が全て手作りました!

ホイル焼きは出来立てアツアツを
ご利用者に食堂で提供しました!!

桐樹園 日中カフェ 初参戦!!



常食



ミキサー食

「ハロウィン」をテーマに
支援課主催の日中カフェに
「かぼちゃモンブラン
～お化けクッキー添え～」を
提供させていただきました。



芋煮会 ～深オふれあいまつり(共催)～

11月3日(日)に、深オコミュニティセンターにて崇徳厚生事業団の秋の芋煮会が開催され、出場した4つの施設で一番美味しい芋煮を決めるコンテストが行われました。その結果、見事、桐樹園・桜花園の合同チームが優勝! 野菜はすべて長岡産のものを使用。隠し味には焦がし味噌を加え、王道の味を追求しました☆ご利用者にも芋煮がふるまわれ、みんなで美味しくいただきました。

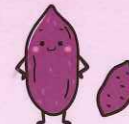


今年の思い出

10/20日 交流会



10/10(木) 芋掘り



12/1日 忘年会



10/31(木) ハロウィンカフェ





家族会

11月10日に桐樹園家族会屋内環境整備が行われました。6名のご家族が参加され、交流ホームや食堂、廊下等のエアコン、換気扇清掃や窓ふきを実施していただき、寒くなる季節を前に隅々まで綺麗にしてくださいました。

9月の桜花園桐樹園合同屋外環境整備は感染症の拡大により、桐樹園は参加することができませんでしたが、今回は感染症の流行も無く無事参加することができました。

ご利用者の皆様からも綺麗になって過ごしやすいとのご意見いただいております。清潔な環境で過ごすのは気持ちいいですね。ご利用者に快適に過ごしていただくためにも、今後ともご協力をお願いいたします。

生活支援課主任 大塚



東日本ケアコンテスト



9月25日(水)に「第7回東日本ケアコンテスト」が開催され、桐樹園から更衣部門で高野支援員、移動部門で馬支援員が参加しました。両名ともに、日頃の丁寧な支援に評価をいただき優秀賞という結果でした。



緊張しましたが、一つ一つ確認の声掛けや、障害特性に適した支援を意識して行うことが出来ました。今回の経験を活かして、丁寧に介助していきたいです。

高野 和香



初めて参加しました。日頃やっている介護とコミュニケーションを心掛けました。自信は持っていましたが、緊張しました。今後も学んだことを活かし、ご利用者様により良いケアを提供していきたいです。

馬 伝昊

こんにちは!『相談支援センターふかさわ』です!



~地域づくりの活動を紹介します~



私たちは、障害のある方やそのご家族の生活に関する相談、福祉サービス等の紹介、サービス利用にあたっての調整などを行っています。

また、個別の対応に加えて、地域住民や関係機関に障害への理解を深めてもらい、相談支援事業所の役割を知ってもらうことで、地域全体で障害のある方を支えていけるように活動しています。

今回は私たちが行っている『地域づくりの活動』についてご紹介いたします。

小学校での福祉体験授業

地域の小学校で、福祉クイズ、車いす体験、視覚障害の体験などを通して、障害について知ってもらう取り組みをしています。



ユニティ活動

長岡市健康課の保健師、地域包括支援センターと定期的に会議を行い、地域の特性や社会資源についての情報共有を行っています。

※ユニティとは、「ひとつにまとまる」という意味です。



地域の様々な活動への参加

地域の活動や講習等に参加し、地域住民に向けて、障害の理解についての講義や相談支援事業所の紹介を行っています。



- ・オレンジカフェ
- ・民生委員児童委員協議会
- ・地域福祉懇談会
- ・ボランティア大学 など



お問い合わせ

相談支援センターふかさわ

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

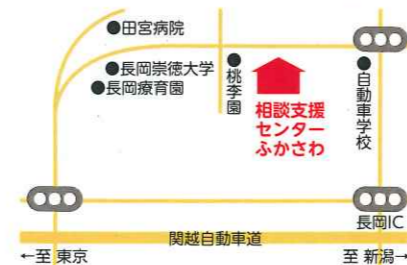
(土日祝、12/31~1/3を除く)

〒940-2126 長岡市西津町字原4668番地

障害者支援施設 桐樹園内

TEL: 0258-47-2208 / FAX: 0258-47-2206

E-mail: toujuen-fukasawa@nagaokafk.com



相談支援センターふかさわ 分室サンスマイル

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

(土日祝、12/31~1/3を除く)

〒940-0854 長岡市中沢町663番地1

TEL: 0258-86-7812 / FAX: 0258-86-7813

E-mail: toujuen-sunsmile@nagaokafk.com





(令和6年7月～令和6年12月迄)

3団体(順不同)

- 秋桜会 様(理美容)
- パラダ 様(理美容)
- ジグザクスリト 様(裁縫)

個人

- 橋本 和良 様(将棋)
- 安達 静夫 様(将棋)



(令和6年7月～令和6年12月迄)

転出

- 令和6年11月1日
田鎖 真理子(生活支援員)
- ワークセンターさおうへ

退職

- 令和6年12月31日
高橋 梨緒(相談兼支援員)



(令和6年7月～令和6年12月迄)

1件(車両の駐車に関するご意見)

お気づきの点がございましたら
お気軽にご相談ください。

- 苦情解決責任者

園長

棚橋 彩子

- 苦情受付担当者

相談支援センターふかさわ係長

宮本 秀幸

生活支援課主任

大塚 裕

- 第三者委員

小柴 昭彦 様

鈴木 敏子 様



《令和6年度上期
備品等、施設整備助成》

- 真柄福祉財団様

低床ベッド 2台

743,000円

- 公益財団法人

新潟県肢体不自由児協会様

ポッチャランプ、

ポッチャ審判セット一式

53,240円

この度、真柄福祉財団様、公益財団法人新潟県肢体不自由児協会様から助成を受け、低床ベッド、ポッチャ用具を整備しました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

すこともWEB美術館

施設内で作成した作品を「すこともWEB美術館」で掲載中です。パソコンやスマートフォンで検索していただき、ぜひ皆さんの作品をご覧ください。

すこともWEB美術館▼

<https://sukotomo.whitesnow.jp/>

